

(第2号様式)

那覇西第2412号
令和7年3月13日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇西高等学校
校長 仲吉 健一
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月18日	場所	進路学習室	出席 状況	評議員4名
第2回	日時	令和6年12月19日	場所	進路学習室	出席 状況	評議員4名
第3回	日時	令和7年3月13日	場所	進路学習室	出席 状況	評議員4名

2 学校評議員に求めた事項

まず、1学期に開催した第1回評議員会にて、学校長より学校の教育目標や計画、経営方針など学校運営の基本方針を説明した。その上で、管理者及び教務部、進路指導部、生徒指導部、国際人文科、体育科、各学年より行事など重要な教育活動に関する現状報告及びその成果と課題について報告した。これらを基に、各評議員より様々な視点から諸教育活動に係る改善策や意見・助言等を求めた。その他、学校評議員による授業視察や学校評価の集計結果を活用し、日々の学校の教育活動を理解していただきながら、各評議員に学校の教育活動全般について、より実態に即した意見や助言を得られるよう運営面で工夫した。

3 学校評議員の意見

- ①先生方の頑張りが生徒や保護者にうまく伝わっていないように感じられる。様々な取り組み方を変えるソフトチェンジが必要ではないか。
- ②「じりつ」(自律・自立・自率)という校訓を生徒の成長にどう活かしていくのか、もっと生徒に(学校行事など)任せてみてはどうか。
- ③授業参観をして、先生方がICTを活用した授業を努めている状況が理解できた。
- ④部活動等で目立つ生徒はいいが、日の当たらない生徒が自己肯定感を育む取り組みも検討してほしい。
- ⑤生徒に任せ、自主性を育て、先生方の個人の裁量が発揮できるゆとりを生み出すよう工夫してほしい。

4 学校運営に反映した事項

- ①学年集会や学校行事など様々な場面で、職員より校訓の「じりつ」について言及し、学校側が生徒に求めることを周知、理解させるよう努めた。
- ②学校行事については、HR単位や生徒会のみならず、個々の生徒に自発的に学校行事運営に参画させて、生徒に経験させるとともに、教師がサポート、助言する形で関わることで、生徒の主体性・自主性を育む行事運営となるよう工夫した。
- ③Classiなどを活用し、保護者に直に情報提供できるよう取り組み、活用した。

5 課題その他

昨年同様、学業と部活動との両立、家庭学習の定着、服装容疑において、職員と生徒・保護者の評価に大きな開きがあるが、その差を縮めるための工夫が求められる。学校評価では、本年度初めて働き方改革についての設問が追加されたが、集計結果では、職員の時間的・精神的なゆとりと自己裁量が発揮しにくい状況が改めて浮き彫りとなった。